

2月22日（月）日本経済新聞に15段全面広告を掲載

平成28年2月22日
スタートCAM株式会社

2月22日（月）日本経済新聞朝刊に15段全面広告を掲載しました。私どもスタートCAMがめざす土地活用の在り方をご紹介します。

資産の有効活用である以上、土地活用の際に最も重要とされるのは、節税効果や収益性の高さといった経済的な観点です。しかし、建築を考える際、経済性のみを判断の材料としても良いのでしょうか？

住む人に寄り添った建物づくりが、充分以上の満足を生み、地域への愛着を育て、街の未来につながっていく。きっかけは資産の承継や節税対策であっても、土地活用を通じて完成した建物には、住む人と地域の明るい未来がまつている。そんな、オーナー様も入居者様も地域の方もみんながうれしい土地活用を、私どもはめざしています。

「空間や自然の光・風を活かした建物」「子育て支援賃貸住宅」や「防災免震マンション」など、これまで私どもが手がけてきた個性的な賃貸住宅もご紹介しています。

ぜひご一読頂き、皆様の土地活用の一助として頂ければ幸いです。

なお、本広告をはじめとする広告・CMライブラリーがこちらからご覧になれます。

[広告：CMライブラリー：http://www.starts-cam.co.jp/cm/index.html](http://www.starts-cam.co.jp/cm/index.html)

また、安心・安全な街づくりのため、私どもが普及に努める免震建物に関する内容はこちらからご覧になれます。ぜひ、合わせてご覧くださいませようお願い申し上げます。

[安心・安全の免震技術：http://www.starts-cam.co.jp/isolation/index.html](http://www.starts-cam.co.jp/isolation/index.html)

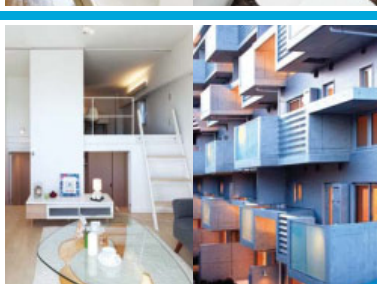
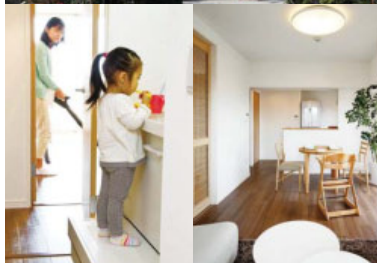


【紙面】

より詳細な紙面につきましては、次のページをご覧ください。

以上

子供を
育む



空間を
活かす

どれだけ人と地域を 笑顔にできるだろうか。

これまでの土地活用は、収益性を考えて
どんな土地、どんな人にもあてはまる賃貸住宅が一つの答えになっていました。
しかし、スタートが見ているのはその先です。

土地が置かれた環境を熟知し、
さまざまな入居者のさまざまな想い一つひとつ応えることで、
住む人のココロをよりいっそう満たす賃貸住宅をつくること。
スタートがめざすのはそんな土地活用です。

例えば、子育てする親と子供の気持ちにとことん寄り添った、子育て支援賃貸住宅。
自然の光や風を採り入れた、ナチュラルで心豊かに暮らせる住まい。

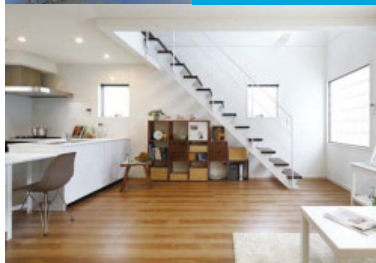
限られた住環境を最大限に楽しむ、1.5層の立体居住空間。
入居者の安心だけでなく、街の防災拠点にもなる免震賃貸住宅。
「ここは自分たちのためにある住まいだ」「こんな賃貸住宅を探していた」と、
すべての人に思ってもらえるように。

そうやって住む人に愛され、地域にも笑顔が溢れていくことこそが、
将来にわたって土地の価値を高めていくただ一つの道だと思うからです。
さて、あなたの土地は、どれだけの人を幸せにできるでしょうか。
私たちと一緒に想像してみませんか。

その土地は、みんなの価値になる。 土地活用はスタート

webで様々な事例を公開中! [スタートの理由](#) [検索](#)

自然を
活かす



免震で
地域を守る

